

師走の贈答品

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -



今年も年末が近づき、出費の多い時期になってきました。特に12月は1年の中で一番支出の多い月です。支出の内訳を見ると、他の月に比べてお歳暮やクリスマスにかかる交際費が多いとみられ、これが支出を押し上げる要因の一つとなっていると考えられます。

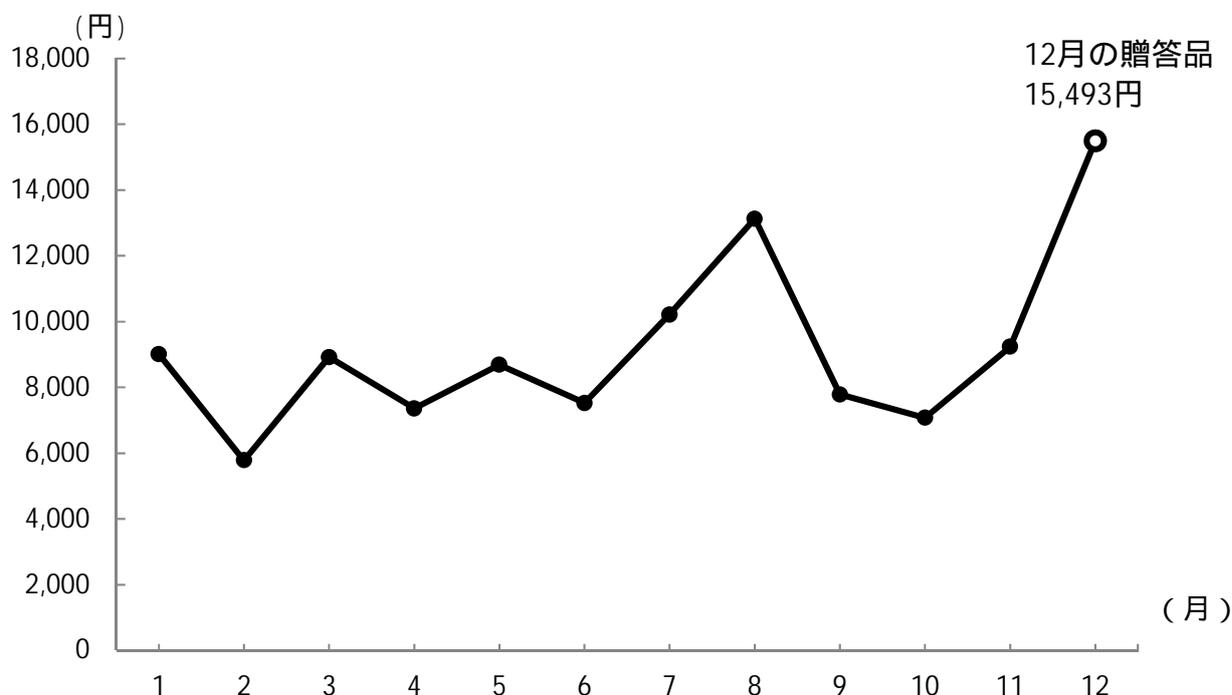
そこで、今月は家計調査の二人以上の世帯の結果から、師走の贈答品について見てみましょう。

贈答品への支出は12月が多い

交際費のうち贈答品への支出を見ると、12月が最も多く、次いでお中元などがある8月及び7月が多くなっています（図1）。

家計調査結果の交際費は、「食料」や「教養娯楽」などの「物品・サービス」、「贈与金」、及び「他の交際費」の3つに区分されており、ここでいう「贈答品」は、「物品・サービス」への支出をいいます。

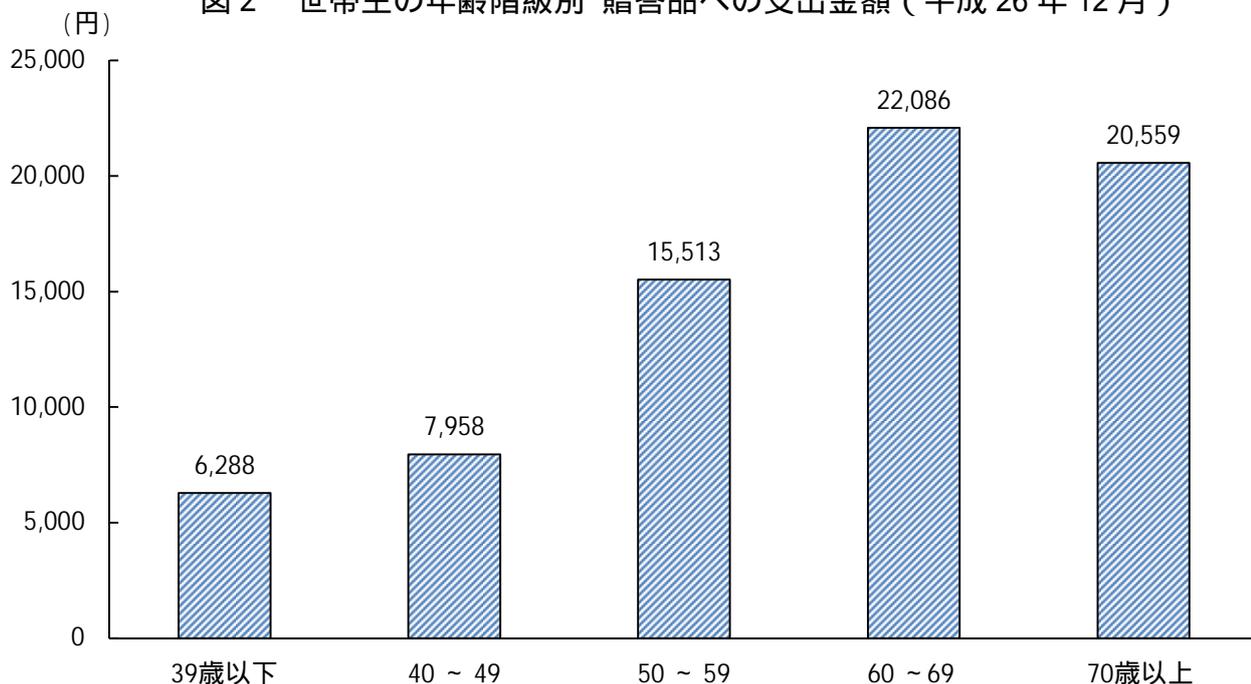
図1 贈答品の月別の推移（平成24～26年平均）



贈答品への支出は世帯主の年齢が60歳代の世帯が多い

次に世帯主の年齢階級別での贈答品の支出について見ると、60～69歳の世帯が最も多く支出しており、39歳以下の世帯に比べて3.5倍となっています（図2）。

図2 世帯主の年齢階級別 贈答品への支出金額（平成26年12月）



贈答品の7割が食料、多いのは菓子類

また、贈答品の内訳を見ると、食料が7割を占めています。さらに食料の内訳を見ると¹、お歳暮や年始用の品として贈られる菓子類、魚介類、果物、肉類、酒類などの物品のほかに、外食²などのサービス関係への支出も多くなっています（図3）。

1：項目ごとの用途分類と品目分類の差を贈答品として見ている。

2：他の世帯（子供や親の世帯）との食事代や食事券の贈答など。

図3 贈答品の内訳（平成26年12月）

